

わかる
と
かわる



WEBで特設サイト公開中

愛知県県民文化局人権推進課

〒460-0001 名古屋市中区三の丸 3-2-1 愛知県東大手庁舎 3階
TEL/052-954-6167 FAX/052-973-3582
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/jinken/>

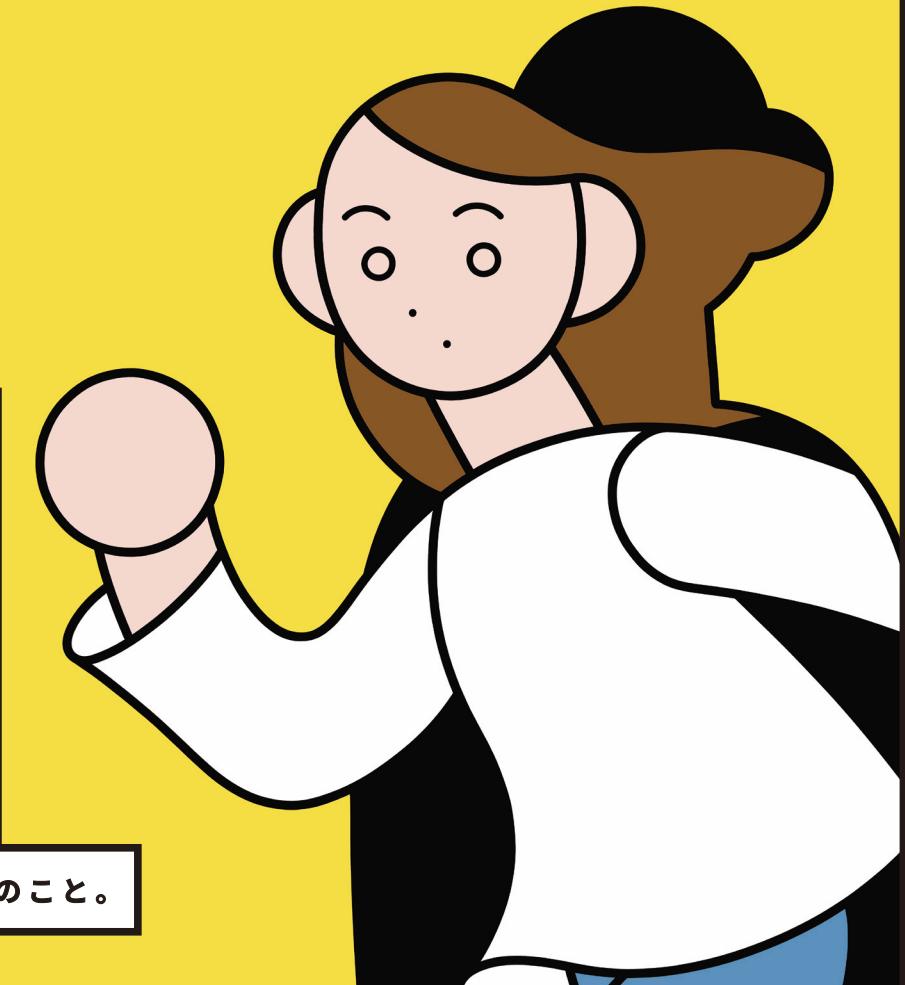
法務省委託事業



わかる と かわる

自分は偏見も差別もしていないから関係ない。
そう思っていても、気づかぬうちに
誰かの人権を傷つけているかもしれません。
話をしてみる。インターネット以外でも調べてみる。
そうやってまずは一歩、
自分から歩み寄ってみませんか。
今まで気づかなかつた気持ちが、見えてくるかも。
それがきっと、あなたの行動や社会を変えていく。

知ることからはじめよう。人権のこと。





全ての場が、活躍できる場だ。

女性が活躍できる場は、つくるものじゃない。

女性の人権

社会全体で女性の活躍向けた動きは拡大していますが、固定的な性別役割分担意識の存在など、女性を取り巻く問題は未だ残っています。世界各国の男女格差を測るジェンダーギャップ指数によると、日本は146か国中116位。※先進国の中では最低レベルです。特にスコアが低いのは「経済」と「政治」の分野。これは議員や管理職といった、リーダーの立場に女性が少ないことが原因の一つとなっています。どんな場所でも、誰もが性別に関係なく力を発揮し、活躍できることが大切です。

※WEF「ジェンダーギャップ指数2022」

わかる
と
かわる

女性の人権

障害者の人権

部落差別(同和問題)

外国人の人権

インターネットと人権

性的少数者の人権



得意なことで、輝ける。

苦手なことは、ある。

障害者的人権

障害がある人の中にも、生まれつき障害がある人、病気や事故、加齢によって障害者となる人など、その状況は様々です。「障害があるからできないだろう」「かわいそう」といった先入観や偏見は、気づかぬうちに障害がある人を傷つけてしまうこともあります。得意なことや苦手なことは、誰にでもあります。相手の立場に立って、その人が持つ個性を生かすためにはどうしたらいいか一緒に考える。それがすべての人にとって暮らしやすい社会への第一歩です。

わかる
と
かわる

女性の人権

障害者の人権

部落差別(同和問題)

外国人の人権

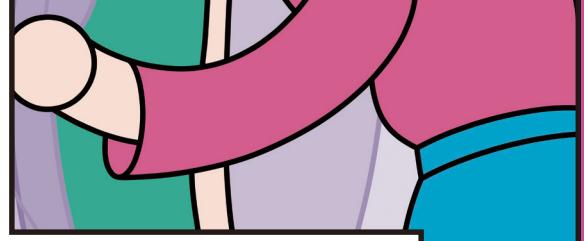
インターネットと人権

性的少数者の人権

「よく知らないから、

気にしない」じゃなくて、

「ちゃんと知ったから、気にしない」



じゃなきゃ、ダメなんだ。

部落差別(同和問題)

部落差別(同和問題)とは、歴史の中でつくられた身分差別によって、特定の地域出身であることやそこに住んでいることを理由に、就職や結婚において差別されることがあるという日本固有の人権問題です。最近では、インターネット上に被差別部落や同和地区の所在地が公開されたり、デマや偏見、差別的情報が発信されるといった問題も起きています。部落差別について正しく理解し、こういった情報を信じたり拡散したりせずに自分たちが差別をなくしていくという意識が大切です。

わかる
と
かわる

女性の人権

障害者の人権

部落差別(同和問題)

外国人の人権

インターネットと人権

性的少数者の人権



外国人の人権

愛知県には26万人を超える外国人の方が暮らしております*、その数は東京に次いで全国2位。日常生活の中で、外国人の方と接する機会も多いのではないでしょうか。外国人の方は文化や習慣、言葉が違うことで地域での生活に戸惑うことがあります。コミュニケーションを諦めたり無関心でいたりすることは、彼らが地域社会から孤立してしまうことにもつながります。お互いに关心を持ちながら、日本人と外国人どちらにあっても安心・安全に暮らせる地域をつくっていくことが大切です。

*法務省「在留外国人統計」(2021年12月)

わかる
と
かわる

女性の人権

障害者の人権

部落差別(同和問題)

外国人の人権

インターネットと人権

性的少数者の人権

友だちとの思い出を、
シェアした。

友だちは
さらされたと思った。

インターネットと人権

「デジタルタトゥー」という言葉を知っていますか？インターネット上に投稿されたコメントや画像は一度拡散してしまうと半永久的にインターネット上に残り続けるため、個人情報の流出や誹謗中傷、リベンジポルノなど様々な問題が生じています。中には発信側に悪意がなくても、結果として、誰かを傷つけてしまうこともあります。インターネットは使い方次第で「加害者」にも「被害者」にもなることを理解して、正しく利用するようにしましょう。

わかる
とかわる



性的少数者の人権

性的少数者とは、同性愛者やトランスジェンダー※のことだけではありません。男性と女性の二択に考えてしまいがちですが、性自認や性的指向が「はっきりとしていない」「決めない」といったクエスチョンングやクィアなど、性のあり方はとても多様です。まずは性の多様性について正しく理解すること。それが性的少数者に対する誤解や偏見、差別のない社会につながっていきます。

※トランスジェンダー：出生時に割り当てられた性別とは異なる性別を生きる人

わかる
と
かわる